

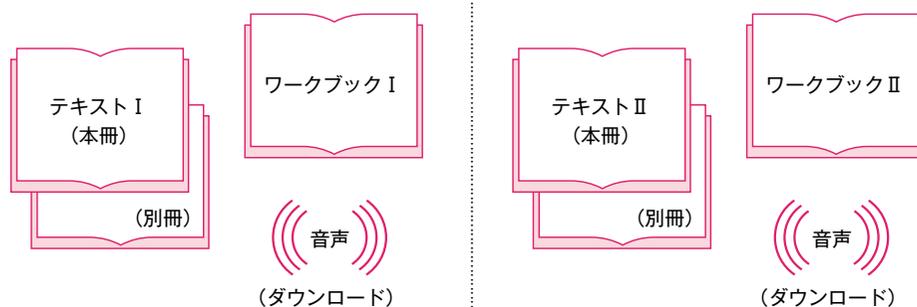
本書について

1 『中級日本語 カルテット』とは

『中級日本語 カルテット』は初級（250～300時間）が終わった学生のための中級総合教材です。中級レベルに必要な文法・表現・ストラテジーを学び、4つのスキル（読む・書く・話す・聞く）をバランスよく身につけることを目標にしています。

教材はI（第1課～第6課）とII（第7課～第12課）に分かれていて、それぞれにテキストとワークブックがあります。IとIIでCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のB1レベル到達を目指します。

学習内容は、Iは日本語能力試験のN3レベル、IIはN2レベルを中心に、各課、文型・表現を約10項目ずつ、漢字は約45字ずつ、読みのストラテジーを1～2項目を学びます。第I巻全体では、文型・表現55項目、漢字327字、読みのストラテジー10項目になります。



2 テキストIの構成と内容

『中級日本語 カルテット』のテキストには、1つの課に「読む」「書く」「話す」「聞く」のセクションがあり、共通するテーマでつながっています。「読む」の読み物のトピックが「書く」の作文や「話す」の会話、「聞く」の聴解でも取り上げられていたり、聴解には読み物の文型・表現が使われていたり、各セクションが様々な形で関連していることで、4つのスキルを自然にバランスよく伸ばすことができます。読み物の単語リスト・漢字リストは、本文を見ながら使えるように、テキストに付属する「別冊」に収録しています。また、課の後ろに「ブラッシュアップ」として、各課の学習をサポートする初級文法と漢字に関するセクションがあります。

以下、テキストIの構成と内容について説明します。

(1) 第1課～第6課

読む 2つの読み物で「文型・表現」や「読みのストラテジー」を学ぶ

- **読む前に・読んだ後で** 「読む前に」では、読み物のトピックについて質問に答える形でスキーマを活性化させ、読む準備をします。「読んだ後で」では、読み物の内容を自分の言葉でまとめたり、自分の国と比べたり、自分の経験や意見について話したりします。
- **読み物** 各課に「読み物1」「読み物2」の2つがあり、課が進むにつれて少しずつ難易度を上げてあります。トピックには、多くの学習者が興味を持っている日本文化や社会に関するものを中心に取り上げています。テキストIでは読み物はすべて書き下ろしで、学習者が効率よく、かつ達成感を感じながら学習が進められるようにしました。
- **読みのストラテジー** その課の読み物を理解するのに有効だけでなく、読解全般に広く応用が利くストラテジーを学習します。テキストIでは、文の読み方に関わるものと文章構成を理解するためのストラテジーを取り上げています。
- **文型・表現ノート** 読み物で使われている文型や表現の解説です。テキストIでは日本語能力試験のN3文法を中心に、中級レベルで必須の文型・表現を取り上げました。英文の説明と共に例文を数多く載せて、例文から文型・表現の意味や使い方が確認できるようにしてあります。見出しに「★」が付いている項目は、話せること・書けることを目指すもの、「★」がない項目は意味がわかればよいものです。

書く モデル作文をもとにして作文を書く

「書く」では、「読む」で学んだことを使って、読み物と関連したテーマで短い文章を書きます。実際に作文を書く前に、「モデル作文」や「書くポイント」を読んで文章の構成や書く時の注意点を理解したり、「書いてみよう」の質問に答えてブレインストーミングをしたりすることができるようになっています。

話す モデル会話をもとに会話パターンの練習を行う

「話す」には、「会話1」「会話2」のセクションがあり、それぞれ1つのモデル会話をもとに、インプットからアウトプットまで段階を追って練習します。ほぼすべての会話で、カジュアルとフォーマルの2つのスタイルが練習できます。

1. **やってみよう** モデル会話に入る前に、その会話の状況でまずロールプレイをすることで、自分が今どのくらい話せるかチェックします。
2. **聞いてみよう** モデル会話を聞き、内容や流れをつかみます。
3. **モデル会話** スクリプトを読んでモデル会話を文字で確認するとともに、「フローチャート」で会話全体の流れを視覚的に確認します。
4. **練習しよう** モデル会話から抽出された会話パターンに沿って、自分の言葉でアウトプットする練習をします。



聞く 2つの異なるタイプの聴解練習を行う

「聞く」には「聴解1」「聴解2」の2つがあります。聴解1は読み物に関連した内容で、できるだけ実際の情報を使った日常会話になっています。問題は、図表を見ながら会話を聞いて必要な情報を読み取る「聴読解形式」です。聴解2はモノログで、日本に来た留学生が日本で気づいたこと・疑問に思ったことについて話しているスピーチを聞いて、質問に答えます。議論しやすいテーマになっているので、聞く練習をした後、ディスカッションもできます。

(2)「ブラッシュアップ」セクション

第1課～第6課の学習とは別に、初級文法の復習や漢字学習の役に立つストラテジーを課の後ろにまとめました。

初級文法チェック

初級文法の中でも特に身に付きにくい文法7項目が復習できるようになっています。以下の項目については、その該当課の関連箇所と同時に学習すると効果的です。

初級文法チェック

- ② そうだ／らしい／ようだ／みたいだ
- ③ 敬語
- ⑤ 受身形／使役形／使役受身形
- ⑥ 条件文 ～たら／～と／～ば／～なら

関連する本文の部分

- 第1課 文型・表現ノート4「～らしい」
- 第2課 読み物1・読み物2
- 第4課 読みのストラテジー⑦「動詞の形と動作主」
- 第5課 読みのストラテジー⑧「順番を表す副詞・接続詞」

漢字チャレンジ

部首に関する知識や、接頭辞、接尾辞、反対語、読みのヒントとなる「音符」に関する知識など、中級以降の漢字学習に必要なストラテジーを12項目取り上げました。これらを学習することで、漢字の意味や読みが推測しやすくなったり、これまでに学んだ漢字の知識を整理し直したりすることができ、中級以降ますます重要になる漢字力を効率よく伸ばすことができます。

(3) 巻末

- **聴解 解答・スクリプト** 「聞く」セクションの2つの聴解問題の解答とスクリプト全文。選択問題・○×問題の解答と記述式の問題の模範解答を載せています。
- **文型・表現さくいん** 「文型・表現ノート」の項目の五十音順リスト。
- **単語さくいん** 別冊の「単語リスト」に収録した単語の五十音順リスト。

(4) 別冊

テキストに付属する「別冊」には、単語リストと「覚える単語と例文」、および漢字リストを収録しました。

■ **単語リスト** 読み物に出てくる未習単語のリスト。このうち、覚えるべき重要な単語については、リストの後に「覚える単語と例文」として例文とともに示しています。

■ **漢字リスト** 読み物に含まれる学習漢字のリスト。漢字の読みと意味、書き順、熟語とその英訳を載せました。アミがけされた漢字は必修漢字で、書けるようにする必要があります。

[単語リスト]

漢	行	単語	読み	意味
1	0	監督	かんとく	director
		宮崎駿	みやざきはやお	Hayao Miyazaki
3	1.	やはり	やはり	undoubtedly; after all
		千と千尋の神隠し	せんとちひろのかみかくし	Spirited Away [movie title]
	2.	作品	さくひん	a work
		特に	とくに	especially
2	◇	アカデミー賞	あかでみーしょう	Academy Award
3.	◆	取る	とる	to win (a prize); to take
4.	◇	興味	きょうみ	interest
		もののけ姫	もののけひめ	Princess Mononoke [movie title]

[覚える単語と例文]

3	1. やはり	日本はやはり東京が一番おもしろいと思います。 <small>とうきょう</small>
	2. 特に	私は食べられないものが多いが、特にトマトが嫌いだ。 <small>きら</small>
	3. 取る	今年のスピーチコンテストで賞を取りたい。
	4. 興味	日本のアニメに興味があったので、日本語の勉強を始めた。

- ① 読み物内でこの単語が出る行数を示す。「0」はタイトルの意味。
- ② その課で学習する漢字が含まれている単語には◆が◇が付く。◆は読み書きできるようにすべき単語、◇は読めればよい単語。単語内で下線が付いている字が学習漢字。
- ③ 「覚える単語と例文」の番号。

[漢字リスト]

4	読み物	001	賞	prize; reward	ショウ	◇～賞(～しょう) ~ Award; ~ Prize ◇受賞(じゅしょう) receiving an award
		(15)				賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞
		002	取	take	シュ と	取得(しゅとく) acquisition ◆取る(とる) to win (a prize); to take
		(8)				取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取
		003	興	interest; spring up	キョウ	◇興味(きょうみ) interest
		(16)				興 興 興 興 興 興 興 興 興 興 興 興 興 興 興

- ④ 学習漢字 アミがかかっている漢字は、書けるようにすべき必修漢字。
- ⑤ 漢字の意味
- ⑥ 漢字の読み 音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで示す。
- ⑦ 漢字を使った単語 ◆◇は読み物に出てくる単語(=単語リストに載っている単語)。◆は読み書きできるようにすべき単語、◇は読めればよい単語。

(5) 音声ファイル

以下のセクションには、ダウンロードできる音声が付いており、テキストではヘッドフォンのマーク (🎧) で示しています。

- **読む** 「読み物 1」「読み物 2」の本文、「文型・表現ノート」の各項目最初の例文
- **話す** 「会話 1」「会話 2」のモデル会話
- **聞く** 「聴解 1」「聴解 2」
- **別冊** 「覚える単語と例文」

ダウンロード方法

以下の URL にアクセスして、該当する Zip ファイルをダウンロードしてください。
「ジャパントゥタイムズ日本語教材 ファイルダウンロード」
<http://bookclub2.japantimes.co.jp/download/>



(6) その他

「QUARTET Vocab & Kanji」(iOS/Android)

テキストの単語や漢字が学習できるアプリを別売しています。

3 ワークブック I の構成と内容

ワークブックには、テキスト各課の「読み物」と「文型・表現ノート」に関する練習問題があります。

- **読み物ワーク** 「読み物 1」「読み物 2」それぞれについて、A. 読み物の内容に関する正誤問題、B. 読みのストラテジーの問題、C. 内容についてより詳しく問う質問タイプの問題、の3つを用意しました。
- **文型・表現ワーク** 「文型・表現ノート」の項目に関する練習問題にも3タイプあり、A はアウトプットまで求める項目 (テキストで🔴がついているもの) に関する基本問題、B はその課で出ているすべての文型・表現を網羅したまとめの問題、そしてCはその課の文型・表現を使って口頭で答える練習問題です。

また、テキストの「ブラッシュアップ」にある「初級文法チェック」と「漢字チャレンジ」の練習問題も用意しました。「初級文法チェック」のワークシートは、学習者の定着度を確認するために、まずテキストを見る前に行い、その後、理解が不十分な箇所をテキストで確認するのが効果的です。一方、「漢字チャレンジ」のワークシートは、テキストで学んだ後にその確認として練習問題を行ってください。